

2018(平成30)年度 法学既修者入学試験問題(9月試験)

刑 法

(90分, 総点100点)

試験開始の指示があるまで開かないこと

注意

1. 問題冊子は、表紙及び余白を含めて4ページで、設問は1問ある。
2. 解答用紙は1枚配布する。解答は解答用紙に記入し、解答の末尾には、「以上」と明記すること。また、用紙が不足した場合には、追加の用紙を配布するので、挙手して監督者に知らせること。
3. 下書き用紙として、白紙を1枚配布する。ただし、下書き用紙の提出は認めないので、必ず解答用紙に清書して提出すること。
4. 解答用紙への受験番号、氏名記入は、監督者の指示によること。また、「管理番号」欄は、大学側が使用するので受験生は記入しないこと。
5. 問題の内容に関する質問には、応じない。
6. 試験時間内の退場はできない。なお、試験中の発病等やむを得ない場合には、挙手により監督者に知らせ、その指示に従うこと。
7. 試験終了後は、監督者の指示があるまで、各自の席で待機すること。
8. 問題冊子及び下書き用紙は、各自で持ち帰ること。

〔設問〕以下の事例に基づき、甲の罪責を論じなさい。

甲（男20歳）は、平成28年12月25日の夜、友人A、B、Cの三名を伴って、D（男32歳）の経営するカラオケ飲食店を訪れ、「一人3時間飲み放題4000円コース」を注文し、カラオケルームに入った。ところが、歌好きの甲がマイクを握って放さず独演状態となり、辟易した三名が、制限時間まで1時間を残して「疲れたので解散しよう。」と言いだし、まだ歌い足りない甲は反対したが、結局、A他三名は各人の割り勘分の4000円ずつ、計1万2000円を甲に渡し、会計を甲に任せて立ち去った。

甲は、その後、制限時間まで、ひとりカラオケを続けたが、やがて、アルバイト店員のEが現れ「お客さん、まもなく制限時間ですので、お会計をお願いします。」と言って、1万6000円の請求書を置いていった。甲も、会計を済ませて帰ろうと思い、壁にかけてあったコートをとってポケットを探ったところ、財布が入っていないのに気付いてぎょっとした。その辺に落ちていないかと思い、カラオケルームの中を這い回って捜したが見つからず、どうやら来店途中で落としたものと思われた。甲は、A他三名の置いていった1万2000円はあったので、これを渡し、事情を話して残額4000円の支払を延期して貰おうかとも思ったが、酔った勢いもあり、このカラオケ店は初めて来た店で、自宅からも遠いので顔を知られていないだろうし、入店してから見かけたのはさっきのアルバイト店員Eだけだったので、ちょっと^{すこ}凄めば請求を諦めるだろうと思い、支払を免れようと決意し、引き止められたら力づくでもレジ前を通過しようと考えてカラオケルームを出た。

ところが、出口前のレジに立っていたのは、店主のDだった。Dは、上背もあるうえに、体格もよく、ただならぬ迫力を感じた甲は、とっさに「まずい」と思った。そして、先にトイレに行った時に、大きめの窓があり、全開すれば甲も通り抜けられそうだったことを思い出し、トイレに行って窓から逃走する方針に切り替えた。甲は、体調の悪い振りをしながら、レジ前に立っているDに近寄って請求書を手渡し、いかにも腹痛を感じているように腹を抱えてうずくまり、「イテテテテ、ト・トイレはどこ？」と芝居をした。見かけによらず人のいいDは、この芝居を信じ、「お客さん、大丈夫？ トイレならあっちだ。」と言って、甲から受け取った請求書を持った右手で店の左奥を指した。甲は、いかにも腹痛をこらえるかのように、腰を引きながら、そろそろとトイレに向かった。そして、トイレに入り、窓を開けて身を乗り出してみると、裏路地に面していたので、そこから脱出し

て逃走し，1万6000円の支払いを事実上免れた。三日後の12月28日，甲は，競馬の勝馬投票券購入のため，A他三名から預かった1万2000円も費消してしまった。

以上

余白